



節目を大切に！

20代の頃、大学時代の友人に誘われてハーフマラソンに出場したことがあります。静岡県のある陸上競技場をスタートして一般道を走り、10キロ地点の折り返し地点を周り、スタートした競技場に戻ってくるというコースでした。当時は社会人バレーのチームに所属していて運動はそれなりにやっていたものの、マラソンの練習なんてほとんどしない状態でレースに臨んだので、20キロ走るのが辛かったのを今でも覚えています。

その辛かった20キロの中でも折り返し地点までの10キロは「いつまでこの道が続くんだろう」と何度も何度も考え、やっとの思いで折り返し地点に辿り着きました。その後の10キロはさっき見た景色の中、ゴールの競技場もイメージできているので、気持ちも軽くなって何とかゴールテープを切ることができました。

2年生の10月は高校生活の折り返し地点です。折り返しと言っても残り半分は同じ道に戻るわけではなく（人生の）一本道をただただ突き進むわけですが、これまでの経験を生かして（平坦な道ばかりではありませんが）みんなと一緒に走り抜けましょう。

高校生活の中間地点の今は大きな「節目」で、ここから来年の夏までは「高校生活の充実期」を迎えます。部活動では君たち2年次生が主体となった大会が開催され、学校行事でも修学旅行など大きな行事が控えています。更に学習面では5教科の模擬試験が始まり、大学入試に向けた準備が本格的に開始されます。この「節目」を迎えるにあたり、自らの本気スイッチを一段階上げて再スタートを切りましょう！

2年次主任 平岩岳実

～10月行事予定～

日	曜日	A/B	予 定	日	曜日	A/B	予 定
1	水	B		16	木	B	生徒協議会
2	木	B	芸術鑑賞会	17	金	B	授業公開 PTA理事会
3	金	B	生徒協議会	18	土		
4	土			19	日		
5	日			20	月	A	きずなの日 生徒総会・報告会 あいさつ運動
6	月	A	きずなの日 後期始業式 修学旅行事前学習	21	火	A	
7	火	A		22	水	A	
8	水	A		23	木	A	冬季原付免許取得説明会
9	木	A		24	金	A	第2回学校運営協議会
10	金	A		25	土		
11	土			26	日		
12	日			27	月	B	生活実態調査
13	月		スポーツの日	28	火	B	
14	火	B		29	水	B	
15	水	行	体育祭	30	木	B	
				31	金	B	進研総合学力テスト

保護者のみなさまへ

①修学旅行について

先日の修学旅行関係通知の通り、10月のLHRでは部屋割りやコース別研修、クラス別研修の計画を各クラスの修学旅行委員を中心にしていきます。また、10月6日(月)LHRでは事前学習として、講師に高野裕（たかのゆたか）先生をお招きし、「平和」について考えるきっかけになることを目的に講演会を予定しております。

②体育祭について

今年度から初めて、10月15日(水)に小瀬スポーツ公園体育館を一日使用して体育祭を実施します。全校参加の種目や年次別の種目など、現在生徒会役員を中心に行事内容を検討中です。保護者の皆さまにもご観覧できる予定です。詳細が決定しましたら、BLEND等で通知いたしますので、宜しくお願いします。

③授業公開について

10月17日(金)午後、1, 2年次生の授業公開を行います。当日は13:10からの4校時と、14:25からの5校時の授業をご覧になれます。詳細はこちらもBLEND等で通知いたします。お車でお越しの保護者の皆さまは、当日12:30以降に東門から入場し、グラウンドに駐車していただきますようお願いいたします。

「目的と空気」 松田 光司

暑すぎた夏も終わり、過ごしやすい季節になってきましたね。とはいえ、夏の終わりは寂しさを感じます。高校2年生の夏は充実していましたか？今年できなかったことは、また来年挑戦できるといいですね（来年は忙しくて厳しいかもしれませんが）。私は「ザリガニ」を堪能した夏でした。でも今回は生き物ではない話をしたいと思います。

今年の夏は戦後80年ということで、映画『永遠の0』『アルキメデスの大戦』を観てみました。観たことがある人もいるかと思いますが、どちらも太平洋戦争を舞台にした作品です。そこから太平洋戦争に興味を持ち、調べているうちに『失敗の本質』という本と出会いました。太平洋戦争で日本がなぜ敗れたのかを、組織のあり方から分析した本です。その中で繰り返し指摘されているのが、「曖昧な目的」と「空気・気分による意思決定」です。根拠が乏しい作戦に若者の命が費やされたことに驚かされる事例ばかりでした。

修学旅行で学ぶ沖縄戦のことも取り上げられています。沖縄で実際に戦った第32軍は、第10方面軍の指揮下にありました。両者が集まった「台北会議」では、第32軍側が「空気」を重苦しくし、第10方面軍側の話し合う「気分」が削がれたことで、軍編成とそれに伴う戦略が決まらずに会議が終わってしまいました。その後も戦略方針（持久戦か航空決戦か）が一致しないまま米軍との戦闘が始まってしまいます。戦闘中も第32軍の状況は正しく把握されず（把握のための努力もされず）、机上の無理、無茶な作戦が押し付けられ、大きな損害を受けたのちに持久戦に移行する形となります。最後まで科学的合理性を主張した第32軍の八原高級参謀は、日本軍は精神力や駆け引きの運用の効果を過度に重視し、科学的検討に欠けると嘆いたそうです。

読みながら、これは歴史の話にとどまらず、私たちの日常にも通じるのではないかと感じました。多分私たち日本人は「空気を読む」「言わなくてもわかってきている」といった、コミュニティの「和」のために「空気・気分」を重視する民族なのでしょう。だからこそ、何のためにやるのかという「目的」を日々意識して、論理的に考え、根気強く対話するということを意識的にやっていかないといけないのだと思います。ということで、次のキャンプの目的はウチダザリガニを食べることとして、家族と根気強く対話してみます。



「子どもが生まれる話」 鈴木 唯

予定日まであと2か月ちょっとになり、順調に行けば12月生まれになるはずです。定期的にエコー検査で子どもの様子を見ているのですが、4月ぐらいには米粒ぐらいのサイズが見えたのが、どんどん大きくなって今や7cm越え。ここからもっと大きくなるのですから、「生物の細胞分裂って凄いや……」と毎回思っています。最近めちゃくちゃ蹴られますし、よく動きます。動くのが分かる＝私の体にぶつかるサイズまで、大きくなってきたのかもしれませんね。どうも起きてモニモニしている時と、寝ている時があるみたい…。段々私は慣れてきたのですが、夫は相変わらず触って動くたびに凄いキラキラした目でこちらを見てきます。きっと皆さんの生まれた時も、こんな感じだったのかもしれないですね。

一方で、私は地歴公民科の教員でもあるので、妊婦さんとそれを取り巻く人々が直面する色々な不安も観察してしまいます。妊娠に関わる検査は、病気ではないので健康保険がきかないのです。母子手帳が届くまで検診1回につき7000円ぐらい支払い、それが月2回（母子手帳がもらえたら補助が出ます）。育休期間中は家族が1人増えるのに給料は4割減りますし、まずお金の面だけでも不安が募ります。でも全員が生まれる時お世話になっているはずの産婦人科は多くの医院が少子化のせいで経営難。そのため、妊婦さんの医療に関わる金銭的負担を減らそうとすると産婦人科は経営破綻のため激減してしまうかもしれないという……。もちろん、仕事の不安も一杯です。

皆さんは、そういう嬉しいことや楽しみなこと、そして不安なことを全部乗り越えて今ここに生きています。私も産休を前にして物凄く不安ですが、将来、今皆さんと一緒にいる時間の様な、素敵な時間が待っていると信じて人生の大きな転換点に立っています。途中でいなくなってしまう大変迷惑をかけていますが、皆さんが喜んで子どものことを聞いてくれるのが私にとって凄く救いになっています。ありがとうね。いつか皆さんが人生の大きな転換点に立ち、そして決断した時にも、その先に素敵な時間が待っていることを祈っています。

